



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月10日

上場取引所 東・名

上場会社名 名糖産業株式会社

コード番号 2207 URL <https://www.meito-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三矢 益夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 栗本 正直 (TEL) 052-521-7111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	21,299	16.8	1,253	384.5	2,506	85.8	4,430	362.5
2024年3月期第3四半期	18,236	10.2	258	—	1,349	49.6	957	64.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 5,362百万円(13.0%) 2024年3月期第3四半期 4,746百万円(923.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	261.81	—
2024年3月期第3四半期	56.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	85,409	55,912	65.5
2024年3月期	82,247	51,068	62.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 55,912百万円 2024年3月期 51,068百万円

(注) 第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
2025年3月期	—	17.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2025年3月期(予想)期末配当金の内訳 創立80周年記念配当 2円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	14.8	1,350	481.7	2,650	85.3	4,650	—	274.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	17,289,308株	2024年3月期	17,277,683株
2025年3月期3Q	361,449株	2024年3月期	360,874株
2025年3月期3Q	16,923,450株	2024年3月期3Q	16,912,235株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加を背景に、景気に緩やかな回復がみられました。一方で、物価上昇や中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、原材料価格の高騰やエネルギーコストの高止まり、人件費や物流費の上昇などに起因する各種商品の値上げが進み、消費者の購買意欲の低下が見られるなど、企業にとって厳しい経営環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、企業価値の向上を目指し、「Challenge for the future 未来を創造する挑戦」をスローガンとした、新中期経営計画「MEITO CHALLENGE 2026」をスタートさせました。商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、おいしさ・たのしさ・健康を追求した高付加価値商品の提供、中核ブランドの「アルファベットチョコレート」や「ぷくぷくたい」、「スティックメイトシリーズ」などのプロモーションを推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、2024年2月に連結子会社化した株式会社おいもやの売上の純増分もあり、前年同期と比べて16.8%増の21,299百万円と大きく上回る結果となりました。営業利益につきましては、売上高の増加や商品の内容量変更・価格改定による売上原価率の改善に加えて、株式会社おいもやの利益が加わったことや、その他の子会社の業績が好調に推移したことなどにより、前年同期と比べて384.5%増の1,253百万円となりました。また、経常利益は、営業利益の改善に加えて受取配当金が増加したことなどにより、前年同期と比べて85.8%増の2,506百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別利益に投資有価証券売却益3,363百万円などを計上しました結果、前年同期と比べて362.5%増の4,430百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、原材料価格の高騰やエネルギーコストの高止まりなどにより、一部商品の内容量変更や価格改定を実施しました。主力の菓子部門につきましては、「ぷくぷくたい発売35周年プレゼントキャンペーン」などの販売促進プロモーションの取り組みや連結子会社化した株式会社おいもやの主要製品である芋菓子の売上が加わったことなどにより、増収となりました。チョコレート類は、中核ブランドの「アルファベットチョコレート」などの売上が増えたことにより増収となりました。キャンディ類は、受託商品の売上が伸び増収となりました。そのほか、連結子会社の株式会社エースカーリーは、「凍らせて食べるシャーベット」シリーズの販売が好調なゼリー類の売上が大きく伸びて増収となりました。

粉末飲料部門につきましては、ココア類の売上が増加しましたが、「ロイヤルミルクティー」や分包アソートタイプの「スティックメイト」シリーズの売上が落ち込み減収となりました。

また、冷菓部門につきましては、自社商品・受託商品ともに記録的猛暑や残暑の長期化もあり好調に推移し、増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ17.9%増の18,613百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の増加や商品の内容量変更・価格改定による売上原価率の改善に加えて、株式会社おいもやの利益が寄与したことや、その他の子会社の業績が好調に推移したことなどにより前年同期に比べ261.8%増の1,325百万円の営業利益となりました。

化成品事業

酵素部門につきましては、海外を主な市場としており、海外企業との販売競争が激化するなか、売上拡大を目指して積極的な営業活動を推進しました。その結果、チーズ用凝乳酵素「レンネット」は前年同期並みの売上でしたが、脂肪分解酵素「リパーゼ」は海外市場にて売上が拡大し増収となりました。

また、薬品部門につきましては、乳癌転移検出用医療機器で使用される「デキストラマグネタイト」の売上が大幅に伸びて増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ10.6%増の2,476百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の拡大や利益率の高い製品の販売が好調に推移したことなどにより前年同期に比べ42.6%増の618百万円となりました。

不動産事業

不動産事業につきましては、賃貸駐車場を売却したことなどにより、売上高は前年同期に比べ1.7%減の208百万円となり、営業利益は前年同期に比べ5.6%減の70百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,161百万円増加し、85,409百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したことや投資有価証券が株価の上昇により増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、1,681百万円減少し、29,497百万円となりました。これは主に、未払法人税等が増加した一方で、短期借入金が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,843百万円増加し、55,912百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、65.5%（前連結会計年度末62.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2024年11月8日に公表いたしました2025年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

当該予想の修正に関する事項は、本日（2025年2月10日）発表の「通期連結業績予想、配当予想および中期経営計画の配当金に関する経営指標（KPI）の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,362	7,717
受取手形及び売掛金	6,119	6,818
有価証券	250	0
商品及び製品	1,756	1,762
仕掛品	674	758
原材料及び貯蔵品	1,507	1,965
その他	331	221
貸倒引当金	△2	△27
流動資産合計	16,998	19,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,590	9,375
機械装置及び運搬具（純額）	5,103	4,866
その他（純額）	4,149	4,495
有形固定資産合計	18,843	18,737
無形固定資産		
商標権	1,538	1,470
のれん	499	464
その他	112	125
無形固定資産合計	2,149	2,060
投資その他の資産		
投資有価証券	43,793	44,874
その他	492	547
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	44,256	45,393
固定資産合計	65,249	66,191
資産合計	82,247	85,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,067	2,731
短期借入金	3,070	-
1年内返済予定の長期借入金	765	765
未払法人税等	232	1,370
その他	3,863	4,215
流動負債合計	10,998	9,083
固定負債		
長期借入金	9,079	8,505
繰延税金負債	8,058	8,769
役員退職慰労引当金	45	13
固定資産撤去費用引当金	100	100
退職給付に係る負債	2,668	2,799
その他	228	226
固定負債合計	20,180	20,413
負債合計	31,178	29,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,323	1,335
資本剰余金	86	98
利益剰余金	27,788	31,677
自己株式	△688	△689
株主資本合計	28,509	32,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,484	23,472
退職給付に係る調整累計額	74	18
その他の包括利益累計額合計	22,559	23,490
純資産合計	51,068	55,912
負債純資産合計	82,247	85,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	18,236	21,299
売上原価	14,228	15,010
売上総利益	4,008	6,288
販売費及び一般管理費		
販売促進費	23	213
運送費及び保管費	1,342	1,634
給料手当及び賞与	1,214	1,482
退職給付費用	30	31
役員退職慰労引当金繰入額	3	4
貸倒引当金繰入額	7	25
減価償却費	63	114
その他	1,064	1,528
販売費及び一般管理費合計	3,749	5,034
営業利益	258	1,253
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	924	1,111
投資有価証券売却益	121	1
持分法による投資利益	41	40
企業立地奨励金	95	140
その他	47	42
営業外収益合計	1,232	1,337
営業外費用		
支払利息	26	37
固定資産除売却損	110	43
その他	5	4
営業外費用合計	142	85
経常利益	1,349	2,506
特別利益		
投資有価証券売却益	-	3,363
固定資産売却益	-	342
関係会社株式売却益	29	-
特別利益合計	29	3,706
税金等調整前四半期純利益	1,378	6,212
法人税、住民税及び事業税	248	1,605
法人税等調整額	172	176
法人税等合計	420	1,781
四半期純利益	957	4,430
親会社株主に帰属する四半期純利益	957	4,430

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	957	4,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,844	987
退職給付に係る調整額	△56	△56
その他の包括利益合計	3,788	931
四半期包括利益	4,746	5,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,746	5,362

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2024年2月9日に行われた株式会社おいもやとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額1,514百万円は、会計処理の確定により1,016百万円減少し、497百万円となっております。のれんの減少は、商標権が1,538百万円、繰延税金負債が521百万円それぞれ増加したことによるものであります。なお、前連結会計年度末の利益剰余金に与える影響はありません。

のれんと商標権の償却方法および償却期間は次の通りとしております。

のれん 11年間にわたる均等償却

商標権 17年間にわたる均等償却

2024年2月9日に行われた株式会社平松商店との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、のれんの金額に修正は生じておりません。

のれんの償却方法および償却期間は次の通りとしております。

のれん 11年間にわたる均等償却

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,786	2,238	212	18,236	—	18,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,786	2,238	212	18,236	—	18,236
セグメント利益	366	433	74	874	△615	258

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,613	2,476	208	21,299	—	21,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	18,613	2,476	208	21,299	—	21,299
セグメント利益	1,325	618	70	2,014	△760	1,253

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

2024年2月9日に行われた株式会社おいもやと株式会社平松商店(いずれも食品事業セグメントに帰属)との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。

詳細につきましては、「四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」をご参照ください。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,333百万円	1,373百万円
のれんの償却額	—	34百万円